



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
7

岩村城跡

日本三大山城



当時の岩村城をしのばせる石垣

ひとくメモ

日本三大山城には、岩村城のほか、大和高取城（奈良県）、備中の松山城（岡山県）がある。また、岩村町ではこの霧ヶ城を再建しようと、住民らにより再建構想実行委員会が組織され、再現事業などが行われている。

近世の山城のうち、全国で最も高い標高717[㍎]に築かれたことで「日本三大山城」の一つに数えられる。（財）日本城郭協会の「日本100名城」にも選定。高低差180[㍎]の険しい地形を巧みに利用した要害堅固な山城で、霧が多いこの地方特有の気象までもが城造りに生かされたとされ、別名「霧ヶ城」とも呼ばれる。その創建については、源頼朝の重臣加藤景廉が1185（文治元）年に築いたと伝えられる。美濃と信濃を結ぶ交通の要衝にあり、戦国時代には織田と武田の争奪戦の舞台となった。城を守った数々の城主の中には、政略結婚の道を選びながらも、家臣や領民を守った心優しい「女城主」の存在もあつたとされる。現存する壮大な石垣は、関ヶ原合戦後に入封した大給松平氏によるもの。現在、市では岩村城跡の保存と整備に向けた構想を検討しており、今後城下町と城跡を生かしたまちづくりが進められる。

ENAみのじのみのり祭

毎年10万人以上を集客

えな自慢
8



名物の焼きマツタケでにぎわう

ひとくメモ

以前の催しは皇女和宮の行列を再現したものがメインの「恵那ふるさと祭り」が開催されていたが、恵那の祭りとして定着するにはいま一歩だった。恵那の知名度を高めることで、郷土に誇りを持つ人が増えることを願って再構築されたのがこの祭り。

1989（平成元）年から始まった新しい祭りで、毎年9月の第4土曜、日曜日に開催される市内最大のイベント。延べ200[㍎]のU字溝の炭火で焼く焼きマツタケ、市内13カ町に伝わる伝統料理や地元で採れる山菜、野菜などを使った料理を一堂に集め、販売や試食が楽しめるさとまちじまんコーナーが中心的行事。また、自治会や企業、友人グループなどが作って担ぐユニークな創作御輿が祭の夜を盛り上げる。さらに、市街地を練り歩くおみこし競演など、さまざまなイベントが盛りだくさん。毎年市内外から10万人を超える多くの人が訪れる。



祭りの素晴らしさを宣伝し、盛り上げる、みのり宣隊 ENA レンジャー

次号は9月15日号

発行日は9月15日(火)です

広報えな No.112

2009年(平成21年)
9月1日発行

発行 恵那市役所 / 編集 企画課広報広聴係

岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎26-2111 / ☎25-6150
<http://www.city.ena.lg.jp/> ✉info@city.ena.lg.jp

『広報えな』9月1日号、1部当たりの印刷経費は約11.6円(税込み)です。



恵那市安心安全メール配信システム

登録用QRコード

問い合わせ 防災対策課(内線317)

『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。



この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。